

受験番号	
氏名	

トヨタ看護専門学校

2024年度 入学試験問題（国語）

全三頁中一頁

一 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

毎週の抗がん剤投与にも、慣れてきた。

注<sup>1</sup> バクリタキセルが体に合っているようで、単体で投与するときは、ほとんど副作用はなかった。調子がいいときはランニングも出来たし、筋トレも出来た。問題は3週間に1度の注<sup>2</sup> カルボプラチンとの併用で、副作用は吐き気、倦怠感、口内炎、などがあった。地味に辛かったのは、口の中に、ネチャネチャとした膜のようなものが張ることだった。そのせいで、口の中がいつも不味いのだ。

動悸も強かった。普通に生活している分には問題はなかった。でも、階段を登ると、全力で走った後のように息が切れ、心臓がバクバクいった。階段だらけの我が家は、だから、抗がん剤治療中の人間には厳しかった。半地下で目を覚ましてから、ダイニングのある3階に行くまでに、何度も休憩しないとイケなかった。

投与は辛かったが、化学療法ユニットの看護師に会うのは楽しみだった。皆明るく、鼻歌を歌っていたり、鼻歌どころではない本格的な歌を大きな声で歌っていたり、他の看護師と冗談を言って笑い合っていたりする（一度など、受付のターシャが看護師と爆笑していて、彼女の笑いが収まるまで手続きを待たないといけなかった）。彼女たちの腕にもタトゥーが多く、中には看護服すら着ていない人もいた。これは、日本の病院しか知らない私には驚きだった。

30代の初め頃、扁桃周囲炎<sup>a</sup>という病気になる。扁桃腺に膿<sup>b</sup>が溜まり、唾<sup>c</sup>も飲み込めないほど痛んだ。経口<sup>a</sup>で食事が出来ないの、1週間入院して、<sup>b</sup>デンテキ生活をした。喉以外には支障がないため、持ち込んだ仕事をしたり、絵を描いたり、毎日見舞いに来てくれた母と終わらないおしゃべりをしたりして過ごした。

看護師は皆優しく、驚くほど細やかなケアをしてくれた。ナースコールを押すと、少しのことでもすぐに飛んで来てくれた。

「西さん、大丈夫ですか？」

「何か困ったことはないですか？」

「お手洗い、付き添いましうか？」

私は<sup>①</sup>甘やかされた王様になったような気分、1週間を過ごした。日本の看護師は最高だった。

でも、カナダの看護師も、別の意味で最高なのだった。彼女たちは、私を決して甘やかさなかった。もちろん、何か困ったことがあれば助けてくれたし、相談にも乗ってくれた。でも、あくまで私たちは対等だった。つまり私は、王様などではなかった。

「カナコのはんはトリプルネガティブなんや、オッケー！ 早よ治そう！」

彼女たちと話していると、がんは死に至る病なのではなく、ただの風邪か、ちよつとこじらせたインフルエンザのようなものだと思っていられる。

何度か通ううち、<sup>A</sup>顔なじみの看護師が何人か出来た。

リサには何度もお世話になった。担当になるたび、私の静脈を褒めてくれた。

「相変わらずめっちゃええ静脈やん！ 針刺しやすいわ〜！」

ゴリゴリと静脈の浮き出た手の<sup>c</sup>コウが、私は長らくコンプレックスだった。でも、リサにこんなに褒めてもらうと、<sup>②</sup>なんだか誇らしかった。

「そんなことで褒められたこと今までなかったよ。」

「ほんま？ 友達に看護師おらんのか？ おったら絶対思ってるで。カナコ、ええ静脈してるなあ、て！」

確かに私の静脈は強く、15回の抗がん剤投与に、非常によく耐えてくれた。

ケリーは、いつもカジュアルなスウェットの上下を着ていた。ある時はグレー、ある時は薄い紫。看護師は看護服を着るものだと思っていたが、こちらではその限りではないらしい。ナチュラルなグレーヘアが素敵だと褒めると、白髪染めをして化学薬品にまみれた髪の毛が嫌になったのだと言う。それで、髪をリセットするために、一度剃ったのだそうだ。いつも冗談を言っていて、私が「毛布をもらえる？」と言うと、

「1枚10ドルな〜！」

そう言って笑うのも毎度のことだった。私もいつしか、

「ツケにしてみらえる？」

そう、冗談を返すようになった。

クリステイは、いつもショッキングピンクのコンバース<sup>d</sup>を<sup>e</sup>ハいて、黄色いフチのメガネをかけていた。それは、黄色いパイピングがしてある看護服に合わせているのだった。看護服でおしゃれが出来ることに、私は感動した。

「カナコは、なんかエクササイズしてるん？」

ある日、クリステイが私にそう聞いた。

「うん、調子がええときは、ジョギングと筋トレしてるよ。」

「ええやん。他には？」

「他？ うーん、柔術とキックボクシングをしてたんやけど、抗がん剤治療中やから休んでるねん。」

「そうなんや。寂しい？」

「え？ 寂しい……、うん、そうやな。寂しい。」

クリステイは、しばらく私の顔をじつと見た。そして、こう言った。

「ドクターはなんて言うてるか知らんけど、うちは、カナコがやりたいんならやっつていいと思うで。もちろん、抗がん剤で免疫が下がってるから、感染症には気をつけなあかんけど、自分の体調を自分でチェックして、マンツーマンとか、出来る範囲でやったらええんと違う？ 柔術とか、キックボクシングだけやないで。好きなことやや？」

私も、彼女を見つめ返した。

「カナコ。がん患者やからって、喜びを奪われるべきやない。」

③ 絶望から逃れる道や方向がわからなくても、精神を広げることによって、いつか絶望が耐えられるものにならないともかぎらない。

(中略)

——イー・ユニ・リー『理由のない場所』

私は今、海沿いのベンチに座って、海を見ている。

夏にはビーチバレーや日焼けをする人で溢れるこのビーチには、様々な人がいる。彫刻みたいに綺麗な筋肉をした若い男性や、犬を連れた若い女性、貝殻かいがらを拾っているおばさんや、腰に浮きをつけて遠泳をしているおじいさん、車椅子に乗って海を眺めているおばさんたちのグループ、本当に様々な。冬が始まって、天気の良い日にビーチバレーをしている人を見る。B 目を奪われるのは若い女性ではなく、おばさんたちだった。膝にサポーターを巻き、突き指防止のテーピングをして、大声をあげながら砂だらけでボールを追うおばさんたち。彼女たちは、目がくらむ程美しかった。

20代の頃、年を取るのが怖かった。若さがすべてだ、おばさんになったら終わりだ。私たちの世代はそんな風にC 叩き込まれていた世代だった(残念ながら、今も日本ではそういう風潮があるようだ)。つまり、やはり脅されていた。

でも、自分が年を重ねておばさんになった今、何を怖がっていたんだろう、と思う。誰が私たちを脅していたんだろう。おばさんになったからと言って、自分の喜びにリミットをつける必要はない。

年を取ることは、自分の人生を祝福することであるべきだ。私は44年間、この身体で生きてきた。もちろん、身体的な衰ええは感じる。そして私は、トリプルネガティブ乳がんを患っている。でも、私はA ではない。

(西加奈子『くもをさがす』による。出題の都合上、一部を省略した箇所があります。)

注1 パクリタキセル……抗がん剤のひとつ。

注2 カルボプラチン……抗がん剤のひとつ。

問一 傍線部 a～e のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直せ。

問二 傍線部 A～C はそれぞれどのような意味か、最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

- |            |                |                   |              |
|------------|----------------|-------------------|--------------|
| A 「顔なじみ」   | イ いつも同じ表情の人のこと | ロ 古くから親しくしている人のこと | ハ 人なつっこい人のこと |
|            | ニ 顔を見知っている人のこと | ホ 信用できる人のこと       |              |
| B 「目を奪われる」 | イ 見とれて夢中になる    | ロ あまりの嬉しさに正気を失う   | ハ 視界に入ってくる   |
|            | ニ 意識を集中させる     | ホ 見たことが忘れられなくなる   |              |
| C 「叩き込まれて」 | イ 頭を激しく叩かれて    | ロ 大切な教訓を学ばされて     | ハ 厳しく教え込まれて  |
|            | ニ 不要な知識を詰め込まれて | ホ 力でおさえつけられて      |              |

問三 傍線部①「甘やかされた王様」とはどのような状態のことを言っているのか、三〇字以内で簡潔に説明せよ。

問四 傍線部②「なんだか誇らしかった」とあるが、そのように感じる理由として不適切なものを、次の中から二つ選び、記号で答えよ。

- イ 長くコンプレックスだと思っていたものがあっさりを受け入れられて、気持ちがほぐれたから。
- ロ 看護師と患者の関係は対等であるため、リサが自分にかける言葉にも偽りを感じないで済んだから。
- ハ 看護師としての経験が長いリサから何度も褒められることで、徐々に自信を得ることができたから。
- ニ リサの言葉には誇張が含まれているが、患者との関係を良好にしたいという気持ちが感じられたから
- ホ 静脈が浮き出ていることが、針の刺しやすいものとして肯定的に捉えられていることを実感したから。

問五 傍線部③「絶望から逃れる道や方向がわからなくても、精神を広げることにはできる。広げることによって、いつか絶望が耐えられるものにならないともかぎらない」とあるが、これはどういうことか、最も適切なもの次の中から一つ選び、記号で答えよ。

- イ がんを患ったことで絶望を感じ、これからのように生きたらよいかわからなくなったが、看護師とのやりとりのなかで、心の持ちようによっては絶望に耐えることができるかもしれないと気づいたということ。
- ロ がんを患ったことは絶望であり、これまでの人生をどう捉えたらよいかわからなくなったが、看護師とのやりとりのなかで、心の持ちようによっては絶望に耐えることができるかもしれないと気づいたということ。
- ハ がんを患ってしまうかどうかは全くわからないが、健康なうちに心の持ちようを鍛えておくことで、がんを患ってしまったとしてもその絶望に耐えることができるかもしれないと気づいたということ。
- ニ がんを患ってしまうかどうかは全くわからないが、心を広げて喜びの経験を積んでおくことで、がんを患ってしまったとしてもその絶望に耐えることができるかもしれないと気づいたということ。
- ホ がんを患うことは絶望ではないが、好きなことを自由に行う権利まで放棄すべきでないことを看護師から教わったことで、晴れやかな気持ちでがんと向き合うことができるようになったということ。

問六 A に入るものとしてふさわしい言葉を一〇字以内で考え、答えよ。

二 次の文章を読み、後の問いに答えよ。

公正取引委員会が、グーグルやヤフーなどのプラットフォームを運営する事業者とニュースメディアとの取引実態に関する報告書を公表した。デジタル化の進展に伴い、私たちはヤフーのポータルサイトやラインのアプリなどを通じてニュースを<sup>a</sup>シヨウヒするようになった。周知のように、これらのニュースは新聞社や通信社、放送局などの大手メディア、あるいは<sup>b</sup>新興のオンラインのニュースメディアが提供したものだ。プラットフォーム事業者がそうしたニュースにどれほどの対価を支払っており、果たしてそれは公正なのかを判断するための調査である。

報告書は冒頭で「ニュースコンテンツが国民に適切に提供されることは、民主主義の発展において必要不可欠」だと指摘した。巨大プラットフォームは目下、デジタル空間で圧倒的な力を持ち、ニュースの流通に大きな影響を与えている。そうした影響力を背景にニュースを不当に安く買いたいたり、流通を制限したりすると、それは民主主義の発展を阻害する恐れがある、というわけだ。

こうした問題意識の前提には、デジタル空間を形成する力を持つプラットフォームには質の高いニュースを適切に流通させる社会的責任がある、という考えがある。それは現在の国際的な流れにも沿ったものだ。

例えば最近、カナダで巨大プラットフォームがニュースに正当な対価を支払うよう規制する法律が成立した。そしてそれに反発したグーグル社やメタ社がカナダでのニュース配信の停止を表明し、注目を集めた。現在、各国のニュースメディアと巨大プラットフォームの間で展開されているのは、ニュースにどれほどの価値を認め、いかなる対価を支払うべきかというせめぎ合いである。

ただし、民主主義の発展に必要なニュースの流通のためにコストを負担する主体には私たち自身も含まれる。つまり、ニュースメディアはプラットフォーム事業者だけでなく、広く社会全体に対してもニュースの価値をめぐって交渉をしなければならぬ。

だが、それは難題だ。今回の報告書も指摘するように、「ネット上のニュースは無料」という意識が社会的に定着しているからである。とくに日本は国際的な水準からするとオンラインニュースにお金を支払う割合が<sup>c</sup>著しく低い。そもそもマスメディア時代に生み出されたテレビのビジネスモデルもまた、NHKの受信料制度であれ、広告収入に<sup>d</sup>イゾンした民放の仕組みであれ、ニュースの視聴に私たちが対価を支払っているという構図を不明瞭にしてきた。「ニュースは無料」という意識は長期的に形成されてきた根深いものだともいえる。

したがって、民主主義の発展に不可欠なニュースの供給を維持するためのコストを社会で負担すべきだという主張に納得し、賛同する人々を増やすことが求められる。ただし、その場合はニュースが民主主義において果たすいかなる役割に対して、どのようにコストを負担すべきかを議論する必要があるだろう。

その際に、ニュースが民主主義に関して果たす役割は一樣ではないことが手がかりになる。例えばストレートニュースは公的出来事に関する情報を日常的に提供し、民主主義が十全に機能する基礎となるという点で、民主主義の「維持」に寄与する。他方で解説やフォーラムといったジャンルも存在し、それらは人々の政治的関心を高めるだけでなく、多角的な視点や<sup>e</sup>カンヨウの姿勢を育む点で民主主義の「深化」をもたらしようといえる。

そこで、ニュースが民主主義の発展を担う役割に応じて、社会的なコスト負担のあり方を変えてみてはどうだろう。民主主義の「<sup>A</sup>」に寄与するニュースは、社会で幅広く共有されることが重要となる。そのためコストは可能な限り社会全体で負担すべきだが、安価に提供するのが望ましい。

それに対して民主主義の「<sup>B</sup>」に寄与するニュースは、公的な問題や課題に関心を持つ人々や、ジャーナリズムに強い期待を持つ人々にとって価値を持つ。そうした報道は一部の熱心な層に対して提供されるがゆえに、ニュースメディアがそれぞれ力を入れて取り組み、相応の対価を求めらるものとなる。

重要な点は、ニュースに対価を支払う価値がある根拠をニュースメディアが説明し、社会的な理解を得ていくことだ。留意すべきは、ニュースの価値づけはニュースメディアだけではなく、プラットフォーム事業者や一般の人々も積極的に巻き込みながら社会全体で行われる必要があるという点、そしてニュースの価値は不変ではなく社会的なニーズに応じて変化しようという点である。

一連の説明、そしてそれを踏まえた社会的な議論や交渉を通じて、デジタル時代の民主主義を支え、深めていくための持続可能なニュースの流通および対価の支払いのあり方を構想すべきである。

(山腰修三「ニュースの価値 社会的役割と対価のあり方 考えて」(朝日新聞二〇二三年一月一〇日付)による。)

問一 傍線部 a、e のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直せ。

問二 A、B に入る言葉としてふさわしいものを、本文から抜き出して答えよ。

問三 傍線部「デジタル時代の民主主義を支え、深めていくための持続可能なニュースの流通および対価の支払いのあり方を構想すべき」とあるが、このことについて、理由を含めて説明した次の文の①、③に入るものとしてふさわしい言葉を考え、答えよ。

民主主義の発展に必要なニュースの流通のために①を負担する主体には、プラットフォーム事業者だけでなく、私たち自身も含まれる。そのため、②で議論する必要があるが、ニュースの価値は不変ではなく社会的なニーズに応じて変化しようので、③について、そのあり方を構想すべきである。